

づくりにも努めていく予定である。

公共施設の照明、並びに防犯灯のLED化について

議員 ①今後年次的に公共施設の照明をLED化する予定があるのかたずねる。

②自治会等の維持管理費の軽減のための、LED防犯灯の新設並びに交換に関する補助制度はあるのかたずねる。

市長 ①初期投資に多額の費用が見込まれ、当面の計画はないが、環境への配慮等の観点からも検討は必要と考えており、今後所要経費の軽減の度合い等も勘案し、検討していきたい。

②新設の場合も交換の場合も笠岡都市照明計画委員会も補助金が利用できるもので、広報等によりLEDの普及に努めたい。

東川三郎議員

消火栓について

議員 本市の消火栓の現状について、消火活動に支障がないかたずねる。

消防長 消火栓については毎年度、水利施設設置維持補修負担金として予算計上して不足箇所それぞれ設置をしているが、消火栓の設置が困難な地域もあり、そういった地域には水を積載した消防車を直近に部署し直ちに消火活動を行い、その間に水利部署した消防車が先に部署した消防車に中継送水するなど、複数の消防車両の連携によって補っており、消火栓が必ずしも十分とは言えないが、現在まで大きな支障は生じていないと考えている。

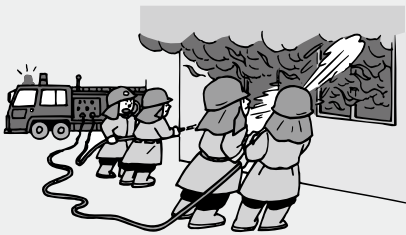
しかし今後、新たな住宅等ができることにより、水利の無い地域が増える可能性もあり、さらなる消防戦術の工夫等も検討する必要があります。また、地域からの要望が

あれば水道課と協議して、敷設替えも含めた消火栓設置についても検討していきたい。

議員 下水道の復旧の後の水道工事の際に、消火栓の口径の拡大を行うことも費用面から有効であると考えますが、どうか。

上下水道部長 実際にはそういった事例はあるが、口径を大きくすると水質の維持が困難になる等の問題もあり、今後は消火栓を設置する運営側の方針に従って整備していきたい。

※水利部署・・・消火活動のための水を取水する場所（消火栓等）に、消防車を配置すること。



山本俊明議員

まちづくりについて

議員 今後のまちづくり協議会をどのように育てるのかたずねる。

市長 まちづくり協議会の最終目標は、地域の活動を活性化させ、地域コミュニティを充実させることであるが、まだまだまちづくり協議会自体の認知度が低い。

そこで、各地区の活動内容の情報提供等を行ったり、地域担当職員と協働のまちづくり課が地域と意見交換を行っていく。そうすることで、まちづくり協議会についてお互いの理解が深まり、各地区の状況に応じたまちづくりができると考えている。

教育と成績について

議員 不登校の原因の一つに、スクールカースト（学校内の生徒の階層や序列）というものがあるが、本市

の現状をたずねる。

今まではできない子をどうするかに力を入れてきたが、これからはできる子を伸ばさなければならぬ。本市の取組みをたずねる。

教育長 現在スクールカーストが存在している学校はないと考えるが、スクールカースト化は、人間関係の流動性が低く、閉鎖的な場で起こりやすいと言われているので、学力に関する課題が子ども同士の関係性を損なったりすることのないよう指導している。

また、基礎の習得を図り、勉強が苦手な子どもが少しでもできるようになることを目指すとともに、習熟度別指導を推進し、一人一人の思考力、判断力等を促す教育にも力を入れている。

議員 これからの技術国日本を支えるのはできる子ども達であり、そういった子ども達を目標めさせるのは小・中学校での教育である。そういった教育にも力を入れていただきたい。